

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
交通史	交通システムの歴史的発展	濱 雄亮	2 年次前期
講義の目的	この講義では、交通システムの整備が社会の発展にどのような影響を与えたのかを交通インフラ・輸送手段（鉄道・自動車・船舶・航空機）ごとに紹介していきます。こうした交通システムの歴史的発展を学習することによって、現代の交通システムをより深く理解できるようになることを目的とします。		
到達目標	交通の歴史を理解することによって、現代の交通に関するさまざまな問題に対する自分の考えを言えるようにすることを到達目標とします。		
講義内容	交通システムの整備は、人や物をより速く、より遠くに輸送することを可能とし、地域だけではなく国の発展や国際関係にも大きな影響を与えてきました。この講義では映像資料を使って、交通による社会の発展を学習していきます。現在の交通問題に直結する内容を扱うため、取り上げる時代は 19-20 世紀が中心となりますが、必要に応じて古代・中世・近世の交通システムも扱います。予備知識はとくに必要ありません。		
講義スケジュール	第 1 講	オリエンテーション、自動車 (1) ～首都高速～	
	第 2 講	鉄道 (1) ～産業と鉄道～	
	第 3 講	鉄道 (2) ～鉄道輸送の高速化① (SL から東海道新幹線まで) ～	
	第 4 講	自動車 (2) ～国産乗用車の開発～	
	第 5 講	自動車 (3) ～物流革命 (宅配便) ～	
	第 6 講	鉄道 (3) ～鉄道輸送の高速化② (東海道新幹線) ～	
	第 7 講	鉄道 (4) ～災害と鉄道網～	
	第 8 講	船舶 (1) ～日本における船の役割～	
	第 9 講	船舶 (2) ～船の歴史～	
	第 10 講	鉄道 (5) ～鉄道網を支える技術① (トンネル) ～	
	第 11 講	鉄道 (6) ～鉄道網を支える技術② (自動改札機) ～	
	第 12 講	航空機 (1) ～世界の航空機～	
	第 13 講	航空機 (2) ～日本の航空機～	
	第 14 講	航空機 (3) ～エアラインと空港～	
	第 15 講	総括	
指導方法	講義は紙の資料と映像資料を主に用います。毎回、映像資料を踏まえたコメントカード記入などの授業内課題を課します。なお、「**と聞いて思いつくこと」などをその場で質問し、履修者の答えを講義に生かすこともあるので、積極的に答えてください。		
授業外学習	事前学習として、シラバスに挙げられている項目について事典・書籍・ウェブサイトによって概要を調べて下さい。事後学習として、授業中に紹介した書籍や配布物を読むことや、自ら関連映像資料を探して視聴して下さい。		
成績評価方法	平常点 (授業内課題) : 50%、本試験 (筆記試験) : 50%。		
テキスト	使いません。紙の資料を配付します。		
参考書籍	川勝平太ほか『「交通」が結ぶ文明と文化—歴史に学び、未来を語る—』技報堂出版、2006 年。他にもその都度紹介します。		
事項記			